

# 事業計画

信頼と親しみのある身近な福智町社会福祉協議会を目指して  
～共に歩む福祉のパートナー～

## 基本構想

過去に類を見ない社会的な不況の中、社会福祉の状況も高齢化の著しい伸展や少子化に伴い、核家族化や単身世帯の増加、引きこもりなどにより生活リスクに対しての脆弱な世帯の増加がうかがえます。高齢者や障がい児者、児童を対象とする制度においても、公的な福祉サービスだけで要援護者をカバーすることは困難であるといわざるを得ません。地域でのネットワークの活性化が不可欠ですが、地域の連帯感の希薄化や個人主義的な傾向が強まる中、小地域での連帯感の醸成と地域での支え合いの和を広めていくことが求められています。社会福祉協議会としてもこれから活動の指針となる「地域福祉活動計画」の策定を行い、住民に身近な社会福祉協議会を築いていく必要があります。

また、活動を行うための財政基盤を整えるため、昨年度「財政健全化5カ年計画」を策定するとともに10年にわたる財政計画のシミュレーションを行い長期的に安定した財政基盤の確立を目指すための方向性を見出しました。社会福祉協議会の果たす役割は、これからが重要であり、地域住民や関係機関・団体と連携し、あらゆる視点から将来を見越した独創的な福祉の町づくりに向けて始動していかなければなりません。

## 実施計画

### (1) 「財政健全化5カ年計画」の遂行と組織機能の強化

- |                             |                                     |
|-----------------------------|-------------------------------------|
| ①理事会・評議員会の開催                | ⑪寄付金の募集                             |
| ②部会・委員会の開催                  | ⑫財政健全化5カ年計画の遂行                      |
| ③定例三役会の開催                   | ⑬収益事業の検討                            |
| ④監査会の開催                     | ⑭共同募金運動の強化と拡充                       |
| ⑤行政連絡会の開催                   | ⑮居宅介護支援事業の見直し                       |
| ⑥役職員研修会の開催                  | ⑯訪問介護事業の見直し                         |
| ⑦課長会及びプロジェクト会議の開催           | ⑰障がい者自立支援事業の見直し                     |
| ⑧各種研修会参加による自己研鑽と<br>資格取得の推進 | ⑱葬祭事業の取り組み                          |
| ⑨職員育成プログラムの実施               | ⑲社内報「ほうれんそう」発行による情報の共有化             |
| ⑩賛助会員の募集と取り組み               | ⑳目標管理、人事考課制度の研究と<br>労務・税務管理の法令遵守の徹底 |

### (2) 地域の福祉力を高めるための取り組みの推進

- |                      |                                 |
|----------------------|---------------------------------|
| ①ふれあい交流事業の充実と拡充      | ⑦小中学生ボランティア事業の開催                |
| ②福祉委員制度の見直しと拡充       | ⑧介護レスキュー事業(緊急時の日常生活支援事業)<br>の実施 |
| ③福智町ボランティア連絡会への支援    | ⑨福祉入門教室の開催                      |
| ④ボランティアの募集と登録        | ⑩障がい児夏期休暇サポート事業                 |
| ⑤ボランティアコーディネーター機能の確保 |                                 |
| ⑥ボランティア養成講座の実施       |                                 |